

# 農業委員会事務局

## (1) 農業委員会事務局予算のポイント

### ◆予算編成にあたっての背景・課題

- 都市農業の振興や都市農地の保全を推進するため、2017年に生産緑地法が一部改正され、新たに特定生産緑地制度が設けられました。大半の生産緑地が指定から30年を迎える2022年までに、特定生産緑地への指定を推進していくことが求められています。
- 2018年に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、生産緑地の貸借がしやすくなりました。農業者等に制度を周知していくとともに、活用を図っていくことが求められています。
- 農地の保全及び農地の利用を促進するため、遊休農地の解消、農地の集約化などに取り組んでいく必要があります。
- 農地法に基づく権利移動の許可等の事務を適正に行い、効率的な農地利用や農地の保全に努めていく必要があります。

### ◆予算編成の考え方

- 農業委員会の運営に関する事務を適正に行います。

### ◆予算編成で重視した取組

- 農地保全や利用促進に向けた活動を進めます。  
(委員会運営費 農業委員会事務局 560ページ)
- 農地法に基づく許可等の事務を適正に行います。  
(委員会運営費 農業委員会事務局 560ページ)

**(2) 2020年度 農業委員会事務局予算総括表**

一般会計

(単位:千円)

款	項目	2020年度	2019年度	比較	事業名
<b>6</b>	<b>農林費</b>				
	<b>1 農業費</b>				
	1 農業委員会費	14,344	14,321	23	委員会運営費
	合 計	14,344	14,321	23	

※職員人件費は除いています。

農業委員会事務局予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2020年度	14,344	0	184	0	61	14,099
2019年度	14,321	0	184	0	215	13,922
比 較	23	0	0	0	△ 154	177

**(3) 事業別支出科目一覧**

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
6	1	1	農業委員会費		14,344
			02 委員会運営費	農業委員会事務局	14,344
			農業委員報酬		12,528
			普通旅費		49
			特別旅費		32
			費用弁償		47
			交際費		30
			消耗品費		45
			印刷製本費		231
			システム保守点検委託料		385
			作成委託料		1
			研修負担金		30
			体験農業実行委員会負担金		60
			東京都農業会議負担金		848
			南多摩地区農業委員会協議会負担金		58

## (4) 事業の説明

一般会計

一般会計		款 6 項 1 目 1 農業委員会費				
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2020年度	14,344	0	184	0	61	14,099
2019年度	14,321	0	184	0	215	13,922

### 2 委員会運営費

14,344 千円

担当 農業委員会事務局

予算書 121 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	184	0	61	14,099

#### ○事業の内容

都市農地の保全や農業経営の向上を図るため、農地等の利用の最適化に取り組みます。また、農地法等の法令事務及び農業委員会の運営に関する事務を行います。

#### ○2020年度の取り組み

農地保全や利用促進に向けた活動を進め、遊休農地の発生防止や解消、認定農業者等担い手への農地利用の集積及び集約化を図ります。また、農地法に基づく農地の権利移動の許可等の事務を適正に行います。

主な事業費	農業委員報酬	12,528千円
	東京都農業会議負担金	848千円
	システム保守点検委託料(農地台帳システム)	385千円
特定財源	国有農地管理事務委託金(都)	184千円
	農業諸証明手数料	61千円



<農地パトロールの様子>